

GAGGENAU

取扱説明書

ガスクックトップ5口

VG 295 250 JP



目次

安全上のご注意	4
安全上のご注意	4
警告	5-6
注意	7-8
ご使用前に	9
ご使用前に	9
安全上のご注意	9
使用上のご注意	9
各部の名称	10
バーナーの正しい取り付け位置	11
操作方法	12
手動で点火	12
立ち消え安全装置	12
消火	12
残熱表示	12
火力と調理メニュー	13
調理とローストのコツ	13
中華鍋使用上の注意	13
お勧めの調理器具	14
お手入れとお掃除	14-15
機器のお手入れ	14
各部のお手入れ方法	15
クリーナーについてのご注意	15
故障かなと思ったら(トラブルシューティング)	16
アフターサービスについて	17
梱包材と使用済み機器の廃棄処分	17




安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 絵表示について

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危険の大きさと切迫の程度を明示するため、誤った取り扱いをした場合に生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

	警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性、および物的損害が想定される内容を示しています。


絵表示の例

-  △ 記号は、警告、注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
-  ○ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
-  ● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。




- 「安全上のご注意」を守らなかったことによって生じた損傷や故障は、保証対象外となります。
- 本機器は日本国内での使用を前提として販売しております。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 本機器を他の人に譲渡されるときは、この取扱説明書を必ず添付してください。

⚠ 危険










ガス漏れに気づいた時

	<p>●火をつけないでください</p> <p>火をつけたり、電気器具のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しないでください。炎や火花で引火し、爆発事故を起すことがあります。</p>	<p>●すぐ使用をやめてください</p> <ul style="list-style-type: none">・器具栓とガス元栓を閉めてください。・窓やドアを開け、ガスを外に出してください。・販売店またはガス業者に連絡してください。
---	--	--

⚠ 警告

	<p>●必ず本体裏側に添付の銘板に表記されたガスを使用してください。</p> <p>転居された時はガスの種類が銘板表記と一致していることを確認してください。</p> <p>異なるガスで使用した場合、異常燃焼となり、一酸化炭素中毒やヤケド、火災の原因となります。</p> <p>銘板は本体の底に貼ってあります。</p> <p>使用ガスが分からない場合は、ガス事業者、販売店にご連絡ください。</p> <p>この部分を確認してください。</p> <p>〇〇〇〇. 〇〇-〇〇〇</p> <p>製造番号の頭4桁は製造年度（西暦）を表しています。</p> <div data-bbox="1094 994 1417 1317" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>VG 295 250 JP → 都市ガス 13A 用 18.0kW 電源 AC100V50/60Hz 10W/10W 〇〇〇〇. 〇〇-〇〇〇 → 株式会社 N・TEC</p></div>
	<p>●高火力のため、天ぷらなどの揚げ物をしないでください。</p>
	<p>●火をつけたままでその場を離れたり、外出をしないでください。</p> <p>電話や来客の時は、いったん火を消してください。</p>

⚠ 警告

	<p>●燃えやすいものを近くに置いたり、使用しないでください。</p> <p>カーテン、ふきん、スプレー缶など燃えやすいものを近づけたり、スプレー、ガソリン、ベンジンなどを近くで使用しないでください。引火して火災、爆発する恐れがあります。</p>								
	<p>●幼いお子様だけで使用させないでください。</p> <p>誤った使い方によるヤケド、けが、火災の恐れがあります。</p>								
	<p>●ご使用中は換気をしてください。</p> <p>ご使用中はときどき窓を開けるか、換気扇を回すなどして必ず換気をしてください。</p> <p>一酸化炭素中毒の原因になります。</p>								
	<p>●可燃壁との離隔距離が適切か確認してください。</p> <p>可燃壁との離隔距離が定められています。近すぎると火災になる恐れがあります。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">可燃物からの離隔距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">上方</td> <td style="text-align: center;">100cm 以上</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">側方</td> <td style="text-align: center;">20cm 以上</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">後方</td> <td style="text-align: center;">15cm 以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>●機器を設置した後、周辺の改造をしないでください。</p> <p>吊戸棚などをつけた場合、可燃物との距離が守れなくなり、不完全燃焼や火災になることがあります。</p> <p>詳しくは『設置説明書』をお読みください。</p>	可燃物からの離隔距離		上方	100cm 以上	側方	20cm 以上	後方	15cm 以上
可燃物からの離隔距離									
上方	100cm 以上								
側方	20cm 以上								
後方	15cm 以上								
	<p>●異常時の措置。</p> <p>地震、火災または使用中に異常を感じた時はすぐに使用をやめ、ガスの元栓を閉じてください。</p>								
	<p>●分解、修理、改造は絶対にしないでください。</p> <p>お手入れが必要なところ以外は絶対に分解したり修理、改造は行なわないでください。</p> <p>ガス漏れや火災の原因になります。</p>								
	<p>●自分で据え付けや移動、再据え付けをしないでください。</p> <p>不備があるとガス漏れや火災の原因になります。</p> <p>移動、再据え付けが必要な場合は販売店にご連絡ください。</p>								
	<p>●傷んだ電源コードや電源プラグ、差しこみがゆるいコンセントは使用しないでください。</p> <p>電源コードを加熱したり、必要以上に引っ張ると破損し感電や火災の原因になります。</p>								
	<p>●電源プラグにほこりが付着していないか確認し、プラグは根元までしっかり差し込んでください。</p> <p>ほこりが付着していたり、コンセントへの接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。</p>								

⚠ 注意

	<ul style="list-style-type: none">●コンロ使用時は体の一部や衣類がバーナーに近づかないよう注意してください。 やけどの危険があります。
	<ul style="list-style-type: none">●お手入れの際は、けがをしないように手袋をはめてください。
	<ul style="list-style-type: none">●機器周辺に樹脂製品や落下しやすいものを置かないでください。 照明器具のカバーなどが変形したり、機器の上に落下したものが燃えて火災になることがあります。
	<ul style="list-style-type: none">●鍋底からはみ出すほど炎を大きくしないでください。 はみ出した炎で鍋の取っ手が加熱されて損傷したり、高温になりやけどの恐れがあります。
	<ul style="list-style-type: none">●炎をふさいだり、コンロを覆うような調理器具を使わないでください。
	<ul style="list-style-type: none">●市販の補助具（アルミ箔製汁受、補助ゴトクなど）は使用しないでください。 不完全燃焼による一酸化炭素中毒や異常過熱による火災や機器損傷の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">●調理以外に使わないでください。 部屋の暖房、衣類の乾燥、炭の火起こしなどに使用しないでください。 火災や機器損傷の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">●フライパン、土鍋などを必要以上に空焼きしないでください。 周辺の異常過熱により、ヤケドや火災の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">●使用中、正常に燃えているか時々炎を確かめてください。 正常に燃焼していないと、異常過熱による火災や、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">●強い風の吹き込むところで使用しないでください。 機器を損傷したり、安全装置が正しく働かなかつたり、着火不良になることがあります。
	<ul style="list-style-type: none">●使用後は必ず消火を確認してください。 外出やおやすみ前にはガスの元栓を閉めてください。
	<ul style="list-style-type: none">●煮こぼれにご注意ください。 煮こぼれによってバーナーが目詰まりすると機器の損傷や火災の恐れがあります。 煮こぼれ後は『お手入れとお掃除』の項を参照に早目にお手入れをしてください。

⚠ 注意

	<ul style="list-style-type: none">●操作部や機器内部に水をかけないでください。 充電部に水が浸入し感電することがあります。
	<ul style="list-style-type: none">●電源プラグを抜く時は、電源コードを持たずに先端のプラグを持って引き抜いてください。 電源コードを引っ張って抜くと感電、ショート・発火の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">●長期間ご使用にならない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">●雷時のご注意 雷が発生した時は使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。 雷による一時的な過電流で部品が損傷することがあります。
	<ul style="list-style-type: none">●コンロ使用中はゴトクに触らないでください。 たとえ火が消えていてもゴトクは熱くなっています。
	<ul style="list-style-type: none">●テレビやラジオを機器の近くに置いて使用しないでください。 点火の際、テレビやラジオに雑音が入ったり、映像が乱れたりする場合がありますので、テレビ、ラジオは4メートル以上離してご使用ください。
	<ul style="list-style-type: none">●車輜、船舶には設置しないでください。 機器故障の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">●お使いになった後は、毎回バーナー部を外してお手入れをしてください。 長期間お手入れをしないで使用しますと、煮こぼれなどでついた汚れでバーナーが詰り不完全燃焼を起すことがあります。

ご使用の前に

設置や電気工事、ガス工事は必ず資格のある技術者にご依頼ください。

お客様が修理を行ったり、誤ったお手入れ方法、使用方法により不具合が生じた場合は、保証期間中であっても有償修理になります。

この機器を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。

取扱説明書は後日確認できるように保管しておいてください。

安全上のご注意

故障の際はお使いにならないでください。

安全にお使いいただくために必ず定期的にお手入れをしてください。

調理中は必ず機器から離れないでください。

高火力のため、**天ぷらなどの揚げ物をしないでください。**

バーナー部品が正確にぴったりとはまっていることを確認してからお使いください。

必ず、中華鍋 やかん フライパンなどをのせてからお使いください。

ご注意:

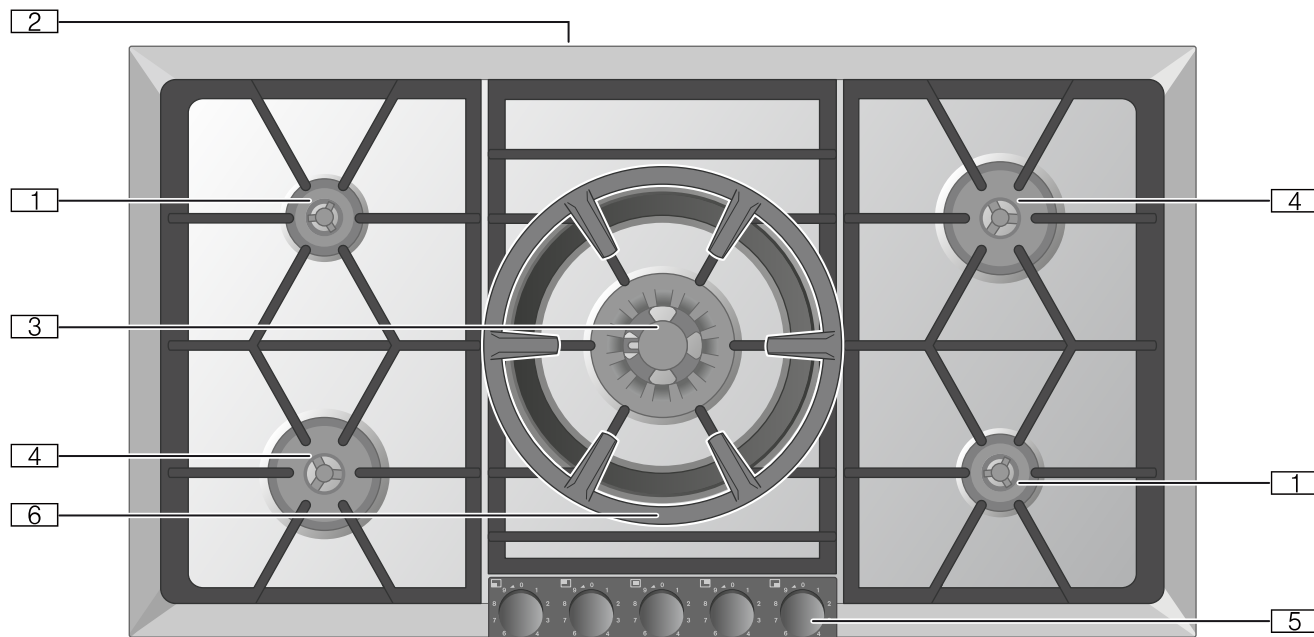
- 使用中は大変熱くなっています。
お子様が触らないようお気をつけください。
- スチームや水をかけてお手入れをしないでください。
漏電や故障の原因になります。

使用上のご注意

- この機器を調理以外の目的で使用しないでください。
- この機器を部屋の暖房、乾燥、その他調理以外の用途に使用しないでください。
- 点火したら立ち消え安全装置を正常に作動させるためコントロールノブを5秒から8秒間押し続けてください。
- 停電時でもマッチやライターなどで点火することができます。この場合でも立ち消え安全装置は正常に働いています。
- 大きな鍋などを使用する時は、その鍋と機器周辺の可燃物とは最低でも150mm離してください。
- お鍋の直径サイズは大バーナー30cm、中バーナー24cm、小バーナー18cm以内のものをそれぞれお使いください。
- 大きい鍋を使用する時は、鍋がコントロールパネルを覆わないようにしてください。
- 調理中は二酸化炭素や熱気、湿気が発生しますので、必ず換気扇を使用してください。
換気扇使用中は、効率良く排気をさせるために給気にご留意ください。
また、調理時間が長くなる場合は、キッチンの窓またはドアを開けて新鮮な空気を取り入れてください。
- この機器は、安全にお使いいただくために20㎡以上の広さで戸外に面したドアまたは窓が付いているキッチンでご使用ください。
- 調理器具をのせないで使用したり、空焚きは絶対にしないでください。
上部の換気扇を傷めたり、換気扇のグリスフィルターに火がつくことがあります。
- 炎が機器の縁を超えて広がるような使い方はしないでください。(例えば、鉄板をのせてのご使用は危険です。) 小さい鍋などをお使いの場合で、炎が鍋の縁を超える時は炎を弱めてください。
- この機器で石や炭を熱することは絶対にしないでください。
- 調理中に鍋をのせかえる時は、安全のため火を小さくしてください。
- 故障時はお買い求めの販売店もしくはサービス店に修理を依頼してください。

各部の名称

ハイカロリーバーナー



- 1 小バーナー 2.0 kW
- 2 給気口
- 3 大バーナー 6.0kW
- 4 中バーナー 4.0 kW
- 5 コントロールノブ
0=オフ
パワーレベル1-9
◀ コントロールノブの回転方向
この方向にまわして着火
- 6 中華鍋ゴトク

イルミネーションディスクの色別シグナル

コントロールノブのまわりのイルミネーションリングは色や発光状態によって機器の状況を表しています。

発光状態	状態
○ オフ	機器がオフ状態
● オレンジ点灯	機器がオン状態
● オレンジでゆっくり点滅	機器がオフ状態 機器に余熱が残っている
☀ オレンジで速く点滅	機器に不具合が起きている アフターサービスに連絡

別売アクセサリ

● 中華鍋 WP 400 001

多層構造ステンレス製

ドーム型鍋底・持ち手付

サイズ:直径36cm、6ℓ、高さ10cm

- 必ずガゲナウ指定のアクセサリをお使いください。
これらのアクセサリを誤った使い方を使用した場合、
メーカーは一切責任を負いません。

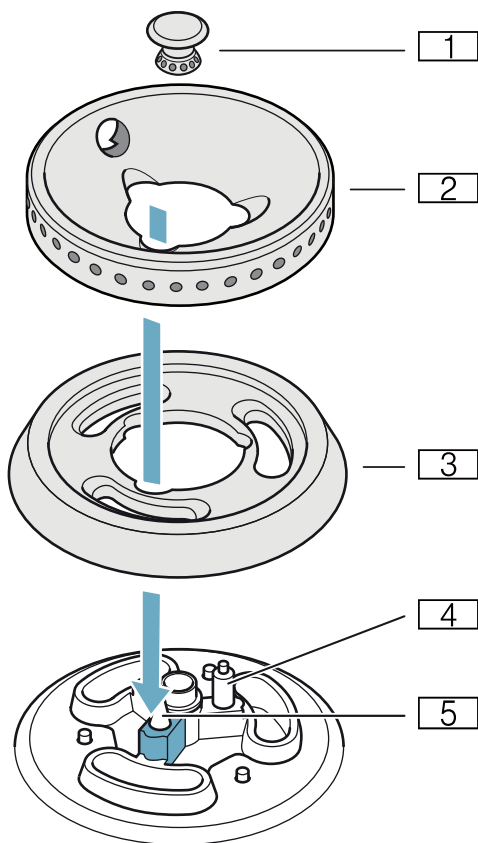
バーナーの正しい取り付け位置

小バーナーと中バーナー

バーナーの個々のパーツが正しい位置にまっすぐに取り付けられていることを確認してください。正しい位置に取り付けがされていない場合、着火の不具合や操作中に問題が発生する可能性があります。バーナーヘッドとバーナーリングを取り付けます。一番下のセクションにある突起とバーナーヘッドのくぼみにカチッと収まるようにはめ込みます。

注意:

- 中バーナーはバーナートップの切れ込み部分を、本体の矢印に合わせてください。
(詳しくは「設置説明書」をお読みください)
- バーナー部品が斜めに取り付けられていると、機器が作動しません。

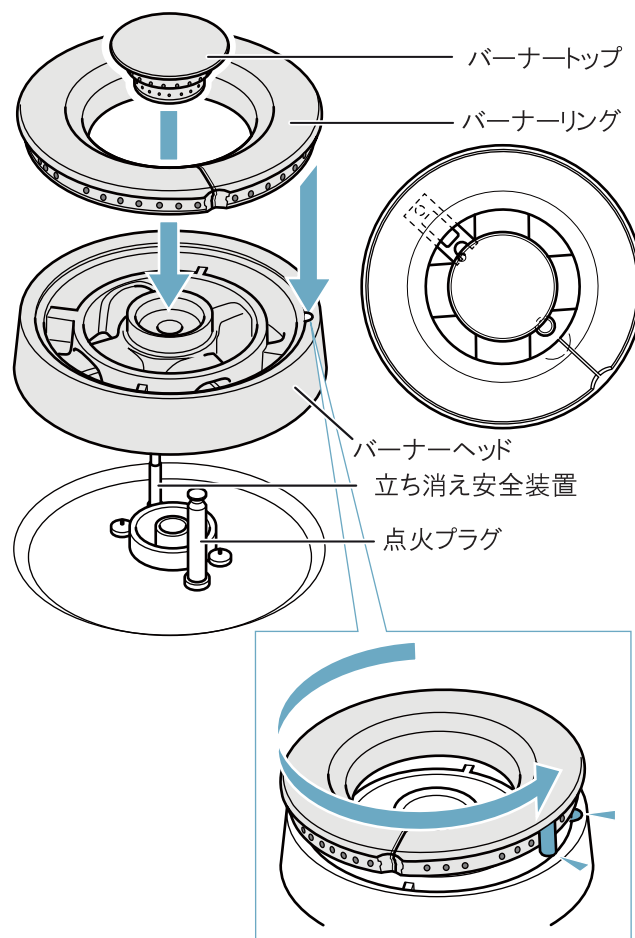


- 1 バーナートップ
- 2 バーナーリング
- 3 バーナーヘッド
- 4 点火プラグ
- 5 立ち消え安全装置

バーナーの正しい取り付け位置

大バーナー

立ち消え安全装置をバーナーヘッドの凹部のガイドに合わせ、そこにバーナーヘッドを乗せてください。バーナーリングの突起は、バーナーヘッドのくぼみの正しい位置にはめ込む必要があります。



操作方法

注意！

推奨アクセサリ以外は使用しないでください。
ステンレスの天板を市販のアルミ箔製汁受やアルミホイルで覆わないでください。

コントロールパネルの背面についている通気口をふさがないようにしてください。

バーナーと点火プラグに汚れがつかないようにし、乾いた状態で使用して下さい。

ゴトクを正しく乗せ、バーナー部品がすべて取り付けられている場合にのみバーナーを点火してください。

バーナーを点火する際には、コントロールノブをできる限りしっかりと押した状態で火力調節の数字の位置に合わせます。

点火したら、立ち消え安全装置を作動させる為、コントロールノブを2～4秒押し続けてください。

2～4秒以内に点火しない場合は、コントロールノブを反時計回りに回して一番弱い1の設定にし、点火が確認できたら強火の9の設定に戻します。ガスによって点火の特性が異なるため、最も低い設定で点火の方が早いこともあります。

1つのバーナーに点火すると、スパークし他のすべてのバーナーにも点火します。

ガス器具の点灯中は、点火プラグに触れないでください。

機器を常にきれいに保って下さい。点火プラグが汚れていると、発火の問題を引き起こす可能性があります。小さな金属製ではないブラシで点火プラグを定期的にお手入れしてください。点火プラグが衝撃を受けないように注意してください。

点火

このガス機器はステップバルブを採用しています。コントロールノブの数字は、1-9の火力のレベルを示しています。

1. ゴトクの上にちょうどいい大きさの調理機器を置いてください。
2. 調理機器をセットしたコンロのコントロールノブを反時計回りに押し回し、火力をえらんでください。バーナーが自動的に点火します。

コントロールノブを回し、お好みの火力のを設定して下さい。

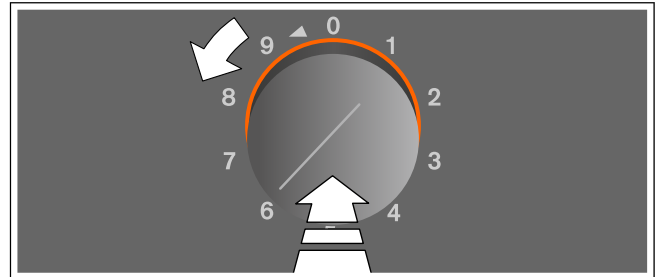
注意！

機器へのダメージ

コントロールノブを0のポジションから1の方向へ回さないでください。ステップバルブにダメージを与える可能性があります。

⚠ 注意！爆熱の危険

点火から15秒してもバーナーが着火しない場合、コントロールノブを回し、スイッチを切ってから室内の窓を開け、換気を行ってください。一分程待ってから、もう一度点火を行ってください。



手動で点火

停電時などに、バーナーを手動で点火することができます。

1. 鍋かフライパンをゴトクの上に置いてください。
2. コントロールノブを押し反時計回りに回し、お好みの火力設定の数字に合わせてください。コントロールノブは押したままにしてください。
3. ガスライター又はマッチなどを使用し、バーナーに点火してください。コントロールノブは、着火した後も数秒間押したままにしておいてください。

注記：この場合、イルミネーションリングは点灯せず、オフの状態となります。

立ち消え安全装置

この機器には、安全のために立ち消え安全装置が付いています。万が一、火が消えてしまった場合、ガスを自動的にストップします。使用中に作動し、火が消えてしまった場合には、コントロールノブを0の場所まで回し、一分程置いてから再着火して下さい。

消火

コントロールノブを時計まわりに回し、0の位置まで戻して下さい。

⚠ 注意！火傷の危険

機器にカバーをしていると蓄熱します。カバーを閉める場合は必ず、機器が冷めてから閉めるようにして下さい。

残熱表示

機器をオフにしたあと、機器に触れても安全な状態まで冷めるまで、イルミネーションリングがゆっくりとオレンジ色に点滅します。これは、機器がまだ熱い状態を示しています。イルミネーションリングが点滅中は、機器に触れないで下さい。

火力と調理メニュー

火力レベル	調理方法	食材
9	加熱	水、液状のスープ
	ゆがく	野菜
	炒める	野菜炒め
7-9	焼き色をつける	肉
	高温で焼く	肉、ジャガイモ
6-8	煮る(蓋なし)	液状のもの
5-7	焼く	粉もの(パンケーキなど)
	中温で焼く	鶏、魚
4-5	低温で焼く	ソーセージ、卵料理 玉ねぎなど
	解凍	冷凍された食品
4	茹でる(蓋なし)	水餃子、ソーセージ
	温める	野菜、スープ、シチュー
3-4	蒸し煮	ロールキャベツ
	煮込み	シチュー
2-4	加熱	スープ、野菜
1	浸す	米、ライスプディング シリアル

調理とローストのコツ

この表では、調理別の最適な火力の設定を紹介しています。調理時間は食材の大きさや量、状態、また、鍋の大きさやなどにより変わってきます。

このハイカロリーバーナーは高性能のクックトップであるため、油などが通常より早い時間で高温に達します。調理中にクックトップのそばから離れると、炎が油に着火し、食品が焦げたり、火事につながる原因となります。調理中はクックトップから離れないようにしてください。

中華鍋を使用上の注意

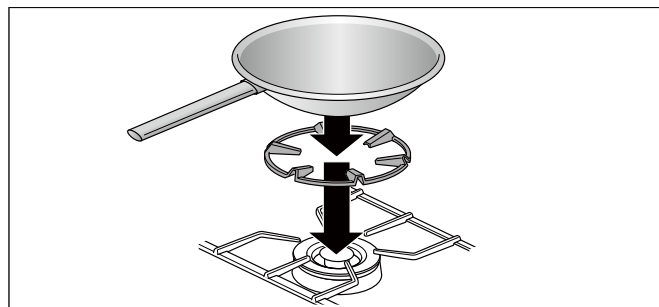
注記：中華鍋を使用する場合には、通常のゴトクの上に中華鍋ゴトクをを乗せます。中華鍋ゴトクが、ゴトクの上に動かずしっかりと乗っているかを確認してから、調理を開始して下さい。

中華鍋の鍋底がドーム型のものでご使用をお勧めします。ガゼナウのアクセサリで高品質の中華鍋をご注文いただくこともできます(品番:WP400001)

中華鍋で調理をする際は高温調理に向けた油を使用して下さい。

高温で調理する場合には、焦げ付かないよう食材をかき混ぜ、長い時間の調理はお避け下さい。野菜はアルデンテに仕上げる事をお勧めします。

調理した食材を鍋から取り出す際には、柄の長い熱に強いレードルを使ってください。



⚠ 注意-怪我の危険

通常のゴトクは上記のような底の丸い中華鍋用にはデザインされておりません。通常のゴトクで中華鍋をしようすると、ひっくり返るなどの危険があります。必ず、中華鍋用ゴトクを乗せてご使用下さい。

お勧めの調理器具

鍋のサイズ

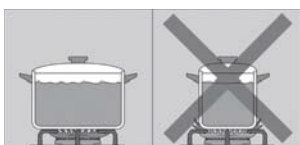
通常のゴトク 鍋底の直径が160mm～300mm

中華鍋ゴトク 鍋底の直径が240mm～300mm
(中華鍋を使用する際は、必ず中華鍋ゴトクを使用すること)

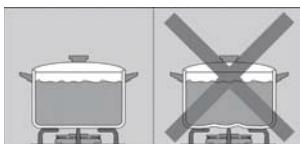
大きな鍋などを使用する時は、その鍋と機器周辺の可燃物とは最低でも150mm離してください。

また、鍋がコントロールパネルを覆わないようにしてください。

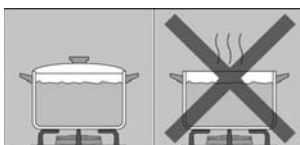
安全上のご注意



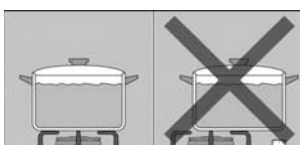
バーナーの大きさに合った鍋やフライパンをお使いください。小さすぎると鍋の外側に炎が回り危険です。



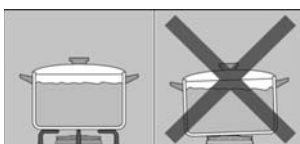
ゴトクの上に水平に置くことができない底が歪んだ鍋やフライパンを使わないでください。鍋やフライパンが傾いて危険です。



省エネのためにもフタをして調理をすることをお勧めします。

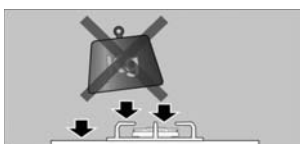


常に鍋やフライパンをバーナーの中心に置いてください。また、コントロールノブにかかるような大きい鍋は使わないでください。高温によりノブが損傷を受けます。



鍋やフライパンは必ずゴトクに乗せて使用してください。絶対にバーナーに直接乗せないでください。

使用前にはバーナーとゴトクが正しい位置にセットされているか確認してください。



鍋やフライパンを乗せる時は、注意深くていねいに置いてください。乱暴に置いたり過度の重量をかけないでください。

お手入れとお掃除

こちらをお読みにになり、正しく安全に機器のお手入れをしてください。

⚠️ お手入れは、必ず機器を完全に冷ましてから行ってください。やけどをする恐れがあります。

⚠️ 高圧洗浄機やスチームクリーナーは使わないでください。

機器のお手入れ

ご使用の度にお手入れをすると、機器に汚れがこびりつくのを防ぐことができます。この際、必ず機器を完全に冷ましてから行ってください。

- ゴトクを両手でしっかり持ち、ステンレスの天板をこすらないように取り外してください。
- バーナートップ、バーナーリング、バーナーヘッドを取り外してください。
- 煮こぼれなどで汚れが焼きついてしまった場合は、汚れたパーツを食器用洗剤を溶かした水にしばらく浸してから洗ってください。クレンザーやスチールタワシ、ワイヤーブラシなどは表面を傷つける恐れがありますので使用しないでください。
- お手入れの際、バーナーベースに水が入らないよう注意してください。
- 熱による影響でステンレスの天板が変色することがありますが、無理にこすり落とさないでください。表面に傷がつきます。
- バーナーをセットする前に、パーツが乾いているか確認してください。湿気のあるバーナーは点火しにくかったり、炎を不安定にします。
- バーナーをセット際、バーナーリングの突起部をバーナーヘッドの切り欠き部に合わせるようにセットし、回しながらカチッと平らにはまったことを確認してください。

各部のお手入れ方法

ステンレスの天板 少量の洗剤を溶いた水で湿らせた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。内部に水が入らないように、水の量は最小限にしてください。市販のステンレスクリーナーを使用することもできます。

ゴトク お手入れの際はゴトクを注意深く取り外してください。少量の洗剤を溶いた水にしばらく浸し、汚れが柔らかくなったらブラシに洗剤をつけて洗ってください。洗い終わったらきれいな水で良くすすぎ乾燥させてください。ゴトクをセットする前に十分に乾燥しているか確認してください。

食洗機では洗わないでください。

バーナートップ
バーナーリング
バーナーヘッド

バーナーのパーツを取り外し、少量の洗剤を溶いた水で湿らせた布で汚れを拭き取ってください。バーナーリングとバーナーリッドの表面の独特の光沢を保つためには‘しんちゅう磨き’でお手入れをしてください。

食洗機では洗わないでください。

コントロール
パネル

少量の洗剤を溶いた水で湿らせた、柔らかい布で汚れを拭いてください。この際、水を多く使わないでください。そして柔らかい布で水気を拭きとり、乾かしてください。コントロールパネルに酸を含む食材(例えば、酢、ケチャップ、マスタード、マリネ等)が付いた場合、なるべく早く拭きとってください。

コントロールノブ

少量の洗剤を溶いた水で湿らせた、柔らかい布で汚れを拭いてください。この際、あまり水を多く使わないでください。

クリーナーについてのご注意

次のような洗剤、お手入れ用品は使用しないでください。

- 研磨剤を含んだものや、強力な洗剤。
- 酢やクエン酸等の酸性の洗剤。
- 塩化物を含んだものやアルコール含有量の高い洗剤。
- オープン用クリーナー。
- 硬いスポンジやブラシ、またはスチールウール。
- お手入れは、ご使用になるスポンジの汚れを落としてから行ってください。

故障かなと思ったら(トラブルシューティング)

以下に書かれている内容をご確認いただき、それでも不具合がある場合は販売店もしくはサービス店までお問い合わせください。

不具合の内容	考えられる原因	解決方法
着火しない	バーナーが正しくセットされていない。	バーナーが正しくセットされているか確認してください。
	バーナーが濡れている。	バーナーを乾かしてください。
	ガスの元栓が閉まっている。	ガスの元栓が開いているか確認してください。
	ブレーカーが落ちている。 電源コードが正しく接続されていない。	電源が入っているか確認してください。 ブレーカーが落ちている場合は入れてください。 電源コードが正しく接続されているか確認してください。
点火スパークをしない	煮こぼれなどによりバーナーと点火プラグの間に異物が付着している。	バーナーと点火プラグの間の異物を取り除いてください。
	ブレーカーが落ちている。 電源コードが正しく接続されていない。	電源が入っているか確認してください。 ブレーカーが落ちている場合は入れてください。 電源コードが正しく接続されているか確認してください。
	バーナーが濡れている。	バーナーを乾かしてください。
	バーナーが正しくセットされていない。	バーナーが正しくセットされているか確認してください。
炎が均一でない	バーナーが正しくセットされていない。	バーナーが正しくセットされているか確認してください。
	バーナーの溝が汚れている。	バーナーの溝をきれいにしてください。
コントロールノブを離すと火が消える	コントロールノブを押す時間が短い。	コントロールノブを押す時間をもう少し長くしてもう一度やり直してください。
	バーナーの溝が汚れている。	バーナーの溝をきれいにしてください。

アフターサービスについて

故障した場合は電源プラグをコンセントから抜いて、アフターサービスを依頼してください。誤った修理を行うと大変危険ですので、修理は必ず経験のあるアフターサービスの技術者にご依頼ください。

電源コード、ガス管が損傷を受けた場合は、メーカー、販売店、ガゲナウサービス店にご連絡の上速やかに修理をしてください。

メンテナンスの際には必ずアフターサービスの技術者の指示に従ってください。

梱包材と使用済み機器の廃棄処分



新しい機器の梱包材や古い機器自体には、原料や再生利用可能な材料を含んでいます。個々の部品に応じた処分をして下さい。

処分方法については、この機器をお買い上げいただいた販売店、または各自治体にお問い合わせ下さい。

輸入販売元

株式会社 N・TEC

〒651-1411

兵庫県西宮市山口町名来2-23-7

☎ 078-904-3101 FAX 078-904-3102

株式会社 N・TEC 東京支店

〒106-0044

東京都港区東麻布1-8-4 ザ・ベルグレイヴィア麻布1.2F

☎ 03-5545-3877 FAX 03-5545-3878

GAGGENAU